

轉法輪

子安地藏尊大法会

七月二十四日(月)午前八時より



子安地藏尊

夫れ境は
心に随つて變ず
心垢るときは
則ち境濁る
弘法大師

平成二十九年七月一日発行
発行所 犬飼山轉法輪寺
〒六三七一〇〇七二
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七二二一四四〇三
FAX〇七四七一五一四七一七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

寺から望む吉野の山々の緑も、一層濃くなってきました。

七月二十四日(月)は、子安地藏尊大祭を厳修いたします。この世に生れ得なかつた子ども達の救済と、これから大きく育っていく子どもたちへの御守護を祈る法要です。

皆さまと共に、お地藏さまに手を合わせたいと思います。どうぞお誘い合わせのうえ、ご参拝くださいませ。

地藏尊法要

地藏堂にて 午前八時

永代供養水児霊の御回向

大教室にて 午前九時半

水児幼没霊供養

先祖諸霊供養

安産子授・子育て祈願

千灯供養境内にて 午前十一時

昼食接待

地元のごどもたちのダンスステージ

一生懸命練習しています！

見に来てくださいね！

犬飼山轉法輪寺

お大師さま 私たちが経験する出来事は、自分自身がどのように受け止めるかによって良くも悪くもなります。一見つらい出来事も、自分を磨く砥石だと思ふと有難いものです。
のお言葉

世界平和の 祈り



轉法輪寺住職 桑山慈紹

お釈迦様のみ教えに「怨親平等」おんしんびやうとうがあります。敵も味方も共に平等であるという立場から、敵味方の幽魂を弔うことでもあります。仏教は大慈悲をもとにしますから、我を害する怨敵も憎むべきでなく、我が愛する親しい者にも

執着してはならず、平等にこれらを愛憐する心を持つべきことをいいます。

私は例年、奈良県五條市の阪合部地区の戦没者慰霊祭に出仕させて頂いています。これまでの当慰霊祭の主目的は、日清日露より第二次世界大戦における同地区の戦没英霊の供養のためです。私は本年の七十二回忌を迎えるにあたり、遺族会会長の辻本信明様はじめ三役様に申し上げました。怨親平等の祈り、当地区の戦没英霊の御供養は申すまでもなく、敵方の戦没英霊、また戦争の犠牲となった罪のない人々のためにお供養させて頂きませんか、とお願ひしました。会長様はじめ役員様にも大いに賛同を頂き、同地区として初めて怨親平等の尊き祈りを捧げることができました。

顧みまするに、高野山では昭和二十二年五月一日より一週間にわたり、怨親平等と平和国家再建のため「萬燈萬華」まんとうまんげ

大法要だいほうえが行われました。この萬燈會奉修の報が伝えられますと、天皇陛下より燈華料が御下賜されました。また国民を代表して芦田首相より「昭和燈」が献上されました。首相は「時代は宗教的活動を切実に要望している。宗教情操による文化国家建設以外に祖国再建の道はない。宗教諸団体が教化活動を展開して、社会人心に光明を点じてもらいたい」と要望されました。また兵庫軍政部副司令官・英国のハットン少佐も萬燈會奉修にあたり、燈籠一対を献燈されています。結縁灌頂の入壇者は三日間で一人を越えました。弘法大師の入定し給う八葉の峯、廟前に類く信徒は数十万人であったと伝えられています。終戦間もないとき、お互いに親しい者を亡くした悲しみも癒えぬときに、敵味方区別なく救われるよう供養する、沢山の祈りがあつたのです。そして萬燈萬華会に込められた祈りは、七十余年経た今日も絶えることなく続いているのです。

毎月21日は月並御影供(9時半～)・28日は不動尊護摩供(9時～)です。
どなたでもお気軽にご参拝くださいませ。入退出自由、昼食お接待です。

(3) 輪 法 轉

最後にお釈迦様のお言葉を記しておき
ましょう。

法句 第一

まこと、怨みごころは
いかなるすべをもつとも
怨みを懐くその日まで
ひとの世にはやみがたし
うらみなさによりてのみ
うらみはついに消ゆるべし
こは易^からざる真理^{まこと}なり

法句 第二

勝つ者
怨みを招かん
他に敗れたる者
苦しみて臥^ふす
されど
勝敗の二つを棄てて
こころ寂静^{しずか}なる人は
起居^{おきふし}ともに
さいわいなり

合掌



【第五十四話】

名誉住職 桑山 聖規



地蔵尊の法話

地蔵菩薩は日本国中で一番多くまつ
られている佛さまで、墓地をはじめ、

道端でも各所にあります。佛法を開か
れたお釈迦様が、「我が入滅したのち弥
勒菩薩がこの世界に下生されるまで、
五十六億七千万年の無佛の世を安樂に
導いてもらいたい」と託された佛がお
地蔵さまです。願いを託されたお地蔵
さまは、常に苦しむ人のそばへ出向い
ているため錫杖を手放さないといいま
す。親しみやすく慈悲深い佛さまで、
特に子どもや弱い者の守護を誓われて
います。

当山の子安地蔵尊は昭和三十九年七
月二十四日に開眼され、今年で五十四
年となります。その当時は人工中絶が
多くあり、その後遺症でノイローゼに
かかったり、足腰や女性の病で悩む方
が多く参拝されていました。そのよう
な方々を救済するのに最善の法を求
め、徳風会の川船喜太郎先生に指導を
仰ぎ、郡山の大理石材店、大石恒義社

水子の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時
からお勤めを致します。

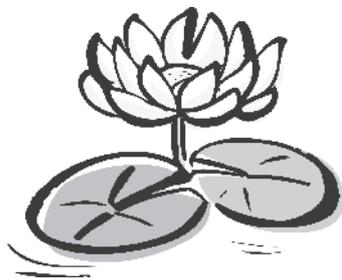
長に何度も足を運んで頂きました。そして拝みながら刻まれたのが当山の子安地藏尊です。

私には、泣く水児の姿がよく見えませんでした。親の都合で中絶された子は、人に生まれる希望を失って悲しんでいるのでした。五十年前は避妊があまり意識されていなかったのか、中絶数の多い人は十回以上ありました。それでも中絶される人は、自分の子を殺す思いで泣いた事もあったと聞いています。家庭の事情もありますが、殺生の行為には違いありません。

水児の菩提のため、そして母親の罪を滅ぼすために、地藏尊に至心に懺悔し供養するように指導したのです。人が亡くなった場合、七週間にわたって七度の供養をします。この世に生まれぬ水児も例外ではないと、七度の供養を勧めました。そうして供養を重ねることにより、沢山の水児が地藏尊に導

かれ、親も明るく元気になられて喜んで頂いたのです。

子安地藏尊は水児だけでなく、安産無事と、幼き子どもを御守護いただく佛さまでもあります。子どもは国の宝です。みなで見守り無事成長をお祈りいたしましょう。七月二十四日は当山の子安地藏尊の大祭です。永代供養会が午前八時より地藏堂にて、大法会が九時半より大教室で執行いたします。酷暑の折ですが皆さまお誘い合わせのうえご参拝下さい。



合掌

心に宝をー23ー

「叱る愛情」



橋本市

宝形山 地藏寺

井上 覚 善

最近、憂いに思う事がひとつあります。それは、子供を本気で叱れない親御さんが増えていのではないかと、という事です。勿論、親にとって子供は何よりの宝であり、出来ることならば、いつまでも見守ってあげたいと思っいると思います。しかしその愛情を可愛いからと目の前だけを見てしまうとつい甘やかし過ぎたり、十分出来る事でも、させなかつたり、悪い事をして他人様に迷惑をかける様な事をして、「まあ、子供のした事だし、自分たち親が庇ってあげればいいから。」と、子供の機嫌や顔色を覗いてばかりで、

輪

法

轉

(5)

言うべきことを言わず、叱るべきときに叱れない親御さんがとても多いと感じます。

私にも勿論子供時代があり、親や素晴らしい恩師の先生方をはじめ、ご近所の方やご縁ある方からたくさんのお教えと厳しくも深い愛情のある叱責を受けた事が沢山あります。そしてそれは時には優しく諭してくれ、また時には愛情をもつてしっかりと激しく怒ってくれたこともありました。勿論、怒られて直ぐは頭に血が上ってますから素直に聞けない時もありましたが、時間を置き冷静さを取り戻した時には深く反省し、心に刻んできました。

そして時は流れ、いつしか私も親となり、現在、反抗期真っ只中の娘があり、ほとほと手を焼くこともあります。怒らないといけない時には正座をさせ、正面から向き合いしっかりと目を見て、「お前はお父さんお母さんの何

よりの宝物で、幸せになって欲しい。そしていつまでも守ってあげたい。でもね、事故とか災害とかがあればわからないけども、普通はお前よりも早く死んでしまっただよ。だから、いつかはわからないけども、自分ひとりでもしっかりと生きていかないといけないんだよ。だから、その時に困らない様に努力しないといけないんだよ。人様に喜んでもらえるような人間にならないアカンのやで。」と諭すと娘は大粒の涙をぼろぼろ流し、しゃくりあげて「うん、わかったよ。」と言います。でもしばらく経つとまた同じ事の繰り返しになってしまいがちで、そしてまたこちらの堪忍袋の緒が切れるとまた先程のお説教の繰り返しになります。

とまあこんな感じでどうなること

とまあこんな感じでどうなること



やらわかりませんが、時には酉年の守り本尊である『お不動さま』の様にしっかりと怒り、心には愛情を忘れず試行錯誤しながら歩んで行きたいと思うこの頃であります。 合掌

体験談

五條市
匿名Sさま

この五月二十二日、近所へ単車で用事に行った時のことです。道の左手から車が突然あらわれ、あっという間にぶつかってしまいました。私は単車ごとたおされて下敷きになり、足をのせるステップがくるぶしに食い込みました。「だれか！早く単車をのけてー！」強い痛みにも思わず叫びました。近所の方が声を聞いて、すぐに駆けつけてく

お子様の撰名を致します。出来るかぎりご両親の希望に沿いながら、姓名学に則った良い名を選ばせて頂いております。

れました。

幸いなことに、足にはヒビも入って
おらず、数回の通院で良くなりつつあ
ります。駆けつけた巡査さんも「よく
それだけで済んだねえ」とケガが軽い
のにびっくりされた程でした。カバン
の中には、お大師さまと狩場明神さま
のお守りを入れていました。きつとお
大師さまが守ってくれたのでしよう。
今までも色々なことがありました
が、いつも仏さまと、亡き主人、サイ
パンで戦死した義父が見守ってくれて
いるような気がしています。

一樹の蔭の雨やどり
一河の流れくむ人も
深き縁の法の道

人生の節目節目のこのこという時に、
お大師さまは救って下さるのだという
ことを改めて実感したことでした。

秋の四国巡拝のお誘い

平成29年11月5日(日)～9日(木)

4泊5日 土佐一国参り

<今回の行程>

24番最御崎寺より49番浄土寺、番外札所
鱈大師・十夜ヶ橋を参拝予定

春秋年2回催行の四国巡拝のお誘いです。
全4回で88ヶ寺巡拝を結願いたします。
こころの洗濯に、
お四国へ足を運びませんか？



食事の作法を一緒に行います。夕食後は施餓鬼
供養もします。

夏越のはらい

不動護摩

キユウリ加持

七月二十八日(金)

朝九時より



お大師さまが唐より持ち帰った秘法、
きゅうり加持。

災厄や病気をきゅうりに振り替え、
夏の暑さを無事に乗り越えるための御
祈願です。

本年のきゅうり加持法会は、七月の
不動護摩供と併せて行います。どうぞ
皆さまお参りください。

当日受付は十時までとさせていただきます。

ご詠歌をお唱えしたい方を募集しています。犬飼詠歌講では少人数で
気遣いなくご詠歌を覚えられます。各地の巡拝でもお唱えできます。

輪 法 轉 (7)

内吉野支所主催

受明灌頂開壇

当支所で十年に一度開く真言宗最大の儀式「受明灌頂」を、高野山管長中西啓寶猊下をお招きし、轉法輪寺道場において修行致します。

灌頂とは、師僧が弟子の頭に閼伽水を注ぎ、仏道での一定の資格を証明する儀式です。お大師さまも唐の青龍寺で恵果和尚より灌頂を受けられ、真言宗の第八祖として認められました。帰国後に高雄山で日本初の灌頂壇を開かれ、伝教大師最澄を始め、多くの高僧が受けられたのです。当時のままの秘法が今も受け継がれています。

皆様も灌頂を受けることにより、仏さまとの縁が一層深められ、秘密の印契と戒名を授かって新たな輝かしい人生の一步を踏み出されますようお勧め致します。

詳細は別紙の案内文書をご覧ください。



日時

十月三十一日(火)・十一月一日(水)

うち一日入壇

傳燈大阿闍梨

真言宗管長 中西啓寶猊下

☆贈灌頂(生前中に灌頂を受ける機会が無かった方の為の灌頂)と、塔婆回向も受付いたします。

申し込み締め切り七月二十日(木)

子安地藏尊のお願い

水児供養を希望される方は、同封した供養申込書にてお申込み下さい。当日でも受付ます。

(供養料：一霊五百円です)

△ご奉仕のお願い▽

暑い時ですが、世話人様はじめ信者の皆様のご協力をお願いします。

①七月二十三日(日)、掃除、のぼり立て、ちようちんつり、飾りつけなどの諸準備。

②当日七月二十四日(月)早朝より。

そでなし白衣・うで念珠、または、ゆかたでお手伝い下さい。

③七月二十五日(火)、あとかた付け。

④七月三十一日(月)

よだれかけ付け参り

シャトルバスのご案内

橋本駅く轉法輪寺間の小型バスを運行します。どうぞご利用下さい。

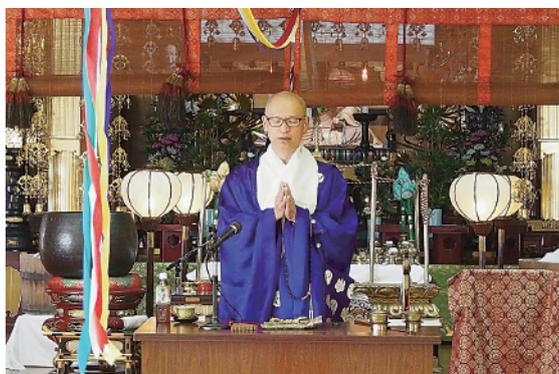
バス時刻表	シャトルバス時
7:30	橋本駅発
8:30	
9:30	
10:30	
11:30	
13:30	轉法輪寺発
14:30	
15:30	

お世話人さま募集! 檀家さんに限らず、信心を持って行事のお手伝いしてもらえる方であれば大歓迎! お大師さまの教えの輪を広げましょう。

内吉野支所下結集寺院総出仕を仰ぎ、
理趣三昧法会を奉修致しました。



本山布教師、齋藤智弘僧正の
お声が堂内に朗々と響きます。



犬飼詠歌衆。大師の手踊りを参拝
のみなさまと一緒に踊ります。



多くの御世話人さまに支えられて、
大法要を営むことができました。



弘法大師 正御影供盛大

去る四月十七日

本年も弘法大師正御影供をお務め致しました。真言宗三信条の一つに「四恩十善の教えを奉じ、人の人たる道を守るべし」とあります。世の中のあらゆる物に感謝の心を持ち、行動を律しようとする務めること。私たちは自分一人で生きていくわけではありません。いつも何かに助けられ、そして自分のささやかな行いでも誰かの救いになれるのです。

正御影供にあたり、お力添え頂いた皆様により感謝申し上げます。

当日行われたバザーの収益金、76,000円は熊本・東北震災支援金として高野山足湯隊に寄附させていただきました。ご協力ありがとうございました。